

障害児入所施設（医療型）の課題整理

地域支援機能

【課題】

障害児入所施設の地域支援機能について、どう考えるか。

- ・ 家族のレスパイト機能としての短期入所の確保
- ・ NICU 退院後における在宅生活を支えるための短期入所の確保や有期有目的支援の在り方（支援方法や手技・心構え等）
- ・ （特に動ける）医療的ケア児に対する短期入所の確保
- ・ 在宅で生活する子どもとその家族への支援を行っている事業所へのバックアップ機能

（これまでの検討会における意見）（※事務局の責任においてとりまとめたもの）

- ・ 医療の重度化は進んでいる。施設内での自己完結ではなく、地域の福祉施設、事業所、教育とどのように連携をとるか課題。（宮野前構成員）
- ・ 重度の障害を負った子どもが地域に戻るためには、中間的な橋渡しを担っていく機能を持つ必要がある。（宮野前構成員）
- ・ 在宅の障害児を支えるための短期入所レスパイト機能や日中活動の場としての機能を積極的に担っていくことも必要。（宮野前構成員）
- ・ 施設が持っている専門的な医療・介護・ケアのノウハウを地域に発信することも重要。（宮野前構成員）
- ・ NICU からの退院は家族に困難さがあっても時間切れで出されることもある。入所の機能がどこまでカバーできるか、地域との連携・役割分担においてフォローできる体制が必要。（田村副座長）
- ・ 母となりゆくとか、親となりゆくというところに少し支援の必要性を感じる。（田村副座長）
- ・ （在宅支援の中で）学校以外のレスパイトの時間があると、その保護者の健康度、QOL が有意差を持って変わることがある。（米山構成員）
- ・ 歩く、動く医療的ケアのある子どもたちの行き場所がないことを感じている。（難病の子ども支援全国ネットワーク）
- ・ 医療的ケアのある家族のレスパイトとして、ショートステイよりも少し長い1週間、2週

間レスパイトできる場所が圧倒的に少ない。(難病の子ども支援全国ネットワーク)

- ・ 医療的ケアはまず、学校に行けない、行けても仕事を辞めなければいけない状況が起きている。病気になってしまった時の預け場所がない。重症児も不足しているが、歩ける医療ケア児は更にはない。(全国医療的ケア児者支援協議会)
- ・ 家族の出産、病気、経済的な問題が起きた時の中長期の支援が必要な短期入所を補完する制度が必要なのではないか。(全国重症児者デイサービス・ネットワーク)
- ・ 重症児、特に医療的ケア児が地域生活を送るための機能として、医療型あるいは障害児入所施設は不可欠である。バックアップ機能として一定の入所枠を確保する必要がある。(全国重症児者デイサービス・ネットワーク)
- ・ 医療に特化した人材が、(自分の)デイサービスの中核にはいない。人材を育成し、教育するための社会資源として、色々なコーディネート、バックアップ、教育研修などを医療型の短期入所、障害児入所施設にはお願いしたい。(全国重症児者デイサービス・ネットワーク) 医療的ケア児が重症化し、数が毎年増えている。福祉という従来の世界での支援は難しいと考える。在宅の障害児を支えるための短期入所レスパイト機能や日中活動の場としての機能を積極的に担っていくことも必要。(宮野前構成員)
- ・ 施設が持っている専門的な医療・介護・ケアのノウハウを地域に発信することも重要。(宮野前構成員)